The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	「アフリカの健康課題」
Author(s)	関, 淳一
Citation	目で見るWHO. 2013, 52, p. 16-17
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/86720
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

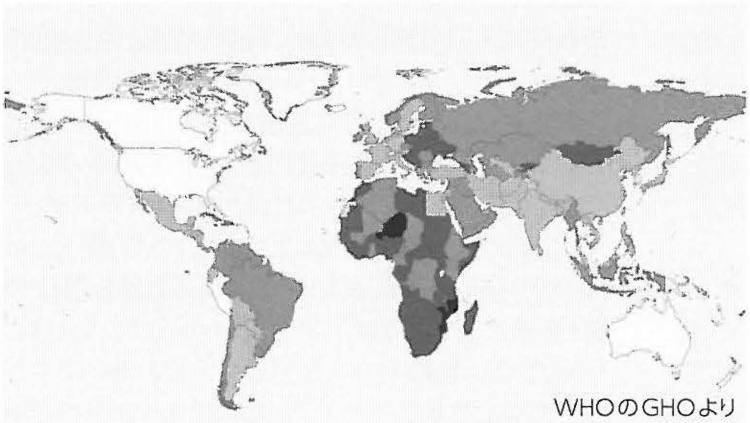
「アフリカの健康課題」

関　　淳一

Jun-ichi SEKI
公益社団法人 日本WHO協会・理事長
1961年大阪市立大学医学部卒業。内科医。和歌山での地域医療や大阪市立大学での教職、大阪市立桃山病院勤務を経て、大阪市での環境保健行政に携わり、2003～2007年大阪市長。2010年より現職として、グローバルな視野からの健康啓発と国際保健医療分野で活躍する若者の育成をめざす。

今日は開会のご挨拶ということですが、1枚だけパワーポイントを見ていただきたいと思います。

先程もお話のあったMDGs（ミレニアム開発目標）もゴールまで最後の1000日と言われる時に至っています。MDGsで言われている乳幼児死亡率の削減、妊産婦の健康改善、感染症対策だけでなく、基礎教育の問題、ジェンダー、貧困、環境対策などはWHOの活動と密接に関連しています。



WHOのGHOより

特にアフリカの健康課題と言えばMDGsとも関連して、先程の乳幼児死亡率や妊産婦の健康の問題がクローズアップされますが、一方でこのパワーポイントをよく見て頂きたいと思います。

WHOは毎年4月7日の世界保健デーには、その年の中心的なテーマを発表します。今年のテーマは「高血圧」でした。

この図は、WHOがその時に示した世界の25才以上の人の高血圧者の国別の有病率を示す地図です。

この地図のアフリカ大陸のところを良く見て頂きたい。色の濃い所は50%以上を示しています。中心のところのニジェールが52.3%、右下のモザンビークは51.0%、その他50%以上がいくつかあります。アフリカはほとんどの国が40%以上とされています。ちなみに日本は36%で、アメリカは 29.9%、カナダは29.7%です。今年の世界保健デーのスローガンは、「血圧管理の重要性—心臓疾患・脳卒中のリスクを減らそう Control your blood pressure: Cut risk of heart attack and stroke」です。

高血圧は心筋梗塞、狭心症、又、脳卒中の最大のリスクファクターです。

WHOも10年後、20年後のアフリカでのNCDs (Noncommunicable diseases:日本での生活習慣病)の増加を懸念しています。中でも、特に心疾患、脳卒中の急激な増加を懸念しています。私たちには、これを避ける責任があります。高血圧は早く気付けば予防でき、又、治療が可能です。それには、空理空論ではなく、今日これからお話される方々のように、実際に現場で、それぞれの立場で、着実に仕事をされる方々の力が大きく貢献するものと確信します。